

Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●例会場/ニュー三幸 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 ☎0134-33-3500



●2014-2015年度RIテーマ
LIGHT up ROTARY
 ゲイリーC.K.ホアンRI会長
 ●第2510地区重点目標
 RIテーマ「ロータリーに輝きを」を推進しよう

**55年の歴史の蓄積の上に立って
 ロータリーにさらなる輝きを**

●再来週5月1日(金)のプログラム

◎休会となります

●来週4月24日(金)のプログラム

◎ドラマ「マッサン」が遺してくれたもの
 余市町中央公民館 館長 浅野 敏昭氏

●今週4月17日(金)のプログラム

◎「平成26年度補正・27年度
 国家予算の小樽経済への波及効果」
 岡田 一則氏(北海道財務局小樽出張所所長)

39

通巻 第2696号
 2015年4月17日発行

**1960年創立
 昭和35年2月5日**

●第38回例会報告 4月10日(金) 小樽商科大学グローバル教育「グローバルマネジメント副専攻プログラム」について 穴沢 眞氏 (小樽商大国際交流センター長)

●ロータリーソング 「四つのテスト」

●ゲスト・ビジターの紹介

穴沢 眞氏 (小樽商大国際交流センター長)

●会長報告 加藤会長

・先週例会所用のため欠席致しましたが、横浜中RCへ当クラブ創立55周年へのご出席のお礼かたがたメーカッパいたしました。



●幹事報告 工藤幹事

・例会終了後、3階白樺の間にて「理事会」開催いたします。

●委員会・同好会

◎高木(成)ロータリー財団委員長

・例会終了後、別室にてロータリー財団委員会を開催いたします。
 ・ポールハリスフェロー持ちポイントの譲度についてのお願いと年次寄付の一人500ドルを基準に於きお願いをいたしておりますご協力のほどお願い申し上げます。(4月中には精算したいと考えております。)

◎坂口次期幹事

・来期(2015-2016年度)「会員名簿」作成につき変

更等のご確認をお願いいたします。

◎ゴルフ同好会 大倉会員

・いよいよゴルフシーズン到来です!!5月からゴルフ例会が開始いたします昨年度までのゴルフ同好会会員皆様にはFAXにて年間スケジュール等ご案内させていただいております。新しくゴルフ同好会ご入会希望の会員の方がおられました大歓迎いたしますので是非ご連絡下さい。今シーズンもよろしくお願いたします。

●会員結婚祝 4月に結婚された会員

4/11 大谷会員 /13 新倉会員 /16 坪井会員
 /23 白石会員 /27 斎藤会員 /27 宮川会員



いつまでもお元気で!

●例会プログラム

**小樽商科大学グローバル教育
 グローバルマネジメント
 副専攻プログラム
 について**

小樽商大国際交流センター長
 穴沢 眞氏



I.小樽商科大学の「NO.1グローバル大学宣言」

本学は、かつて北海道開拓時代の商業的中心であり、日本の主要港の一つでもある歴史的都市小樽に位置しており、海外貿易を振興するため、1911年に小樽商業高等学校として小樽に設立されました。本学の教育は、創立以来、実践との関係を保ち、かつ国際的視野を持つことを重視し、各界で活躍する卒業生を多く輩出してきました。それが「北に一星あり、小なれどその輝光強し」と謳われる由縁です。

平成25年8月8日、本学は文部科学省が公募した「平成25年度地(知)の拠点整備事業」(COC)に



採択されたことを受け、小樽商科大学「No1グローバル大学宣言」を出しました。この宣言については、平成26年4月から第10代小樽商科大学長に就任した和田健夫学長の挨拶に詳しく記されています。

II.「グローバルマネジメント副専攻プログラム」について

「No1グローバル大学宣言」を具現化すべく、本学では、平成27年度より学士課程の副専攻プログラム「グローバルマネジメント副専攻」を新設することになりました。ここに、副専攻プログラムの内容についてご紹介します。

1) 育成すべき人材像

地域と世界を結び、北海道経済の活性化を担う「グローバル人材」育成します。徹底した外国語による教育を実践し、卒業時には、海外とのビジネスに必要なコミュニケーション能力を身につけるとともに、外国の大学・大学院に正規留学するのに必要な水準まで語学力を鍛えます。

2) プログラムの内容

副専攻に所属する学生は、所属している学科で主専攻の学問を学びながら、同時に副専攻プログラムを学んでいきます。3つの科目群「地域キャリア教育目群」、「グローバル教育プログラム科目群」、「言

語文化教育科目群」から合計30単位以上を修得することで副専攻の修了証書が授与されます。

なお、最大18単位までは主専攻の卒業所要単位に参入することが出来ます。つまり、プログラム受講者にとっては、一般学生より12単位分が純増分となります。

III.プログラムの受講資格等

【受講者数】 本学の正規学生30名程度

【受講要件】 本学に1年以上在籍し、本学学部のいずれかの学科に所属し、かつ以下の要件を全て満たすこととしています。

①学業成績の優れた者 (GPA 2.8以上)

②優れた語学力を有する者
(ex.実用英語技能検定2級以上)

※GPA2.8以上の学生は1学年で100名以上います。なお、副専攻プログラム修了者には、副専攻の修了証書を授与します。

※プログラム履修者には海外留学の機会が与えられ、日本オラクルの元会長佐野力氏(本学卒業生)からの寄付金により基金を設立し、留学生には返還の義務がない給付型の奨学金が支給されます。本学では、本プログラムの活性化が本学グローバル教育の推進に重要な役割を担うものと考えております。プログラムの実施には、北海道の自治体・企業等の協力が不可欠となっています。つきましては、今後とも本学へのご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



2015-16年度 地区研修・協議会開催

4月11日・12日 於 岩見沢平安閣

出席委員会

平成27年4月10日

会員総数 76名 本日の欠席者 12名
荒木、荒田、石上、岡崎、角野、佐藤(公)、鈴木、坪井、福井、本間(清)、前川、盛

平成27年3月27日

お知らせ

蘭越RC 新メールアドレス



rankoshi-rc@xvb.biglobe.ne.jp

会員総数 76名 「IM」のため確定出席率100%
3月平均出席率 86.97%

メーキャップ

4/3 本吉 (小樽RC)
4/3 福島、上野、加藤、湊 (蘭越RC)
4/9 佐藤 (公) (委員会) 3/10岡崎 (地区)